



The 38th Annual Meeting
of the Japan Society
of Immunology & Allergy
in Otolaryngology

第38回 IN YOKOHAMA

現地開催とWeb開催の
ハイブリッド開催

2020

現地開催

9/15(火) 16(水)

Web開催

10/1(木) 7(水)

<http://jiao.umin.jp/38th/>

日本耳鼻咽喉科 免疫アレルギー学会

■会長 大久保 公裕 (日本医科大学耳鼻咽喉科学教室教授)
■会場 パシフィコ横浜

神奈川県横浜市西区みなとみらい

プログラム

耳鼻咽喉免疫・アレルギー学、新時代の始まり

Beginning of the new Era

会長ご挨拶



第38回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

会長 大久保 公裕

(日本医科大学大学院医学研究科

頭頸部・感覚器科学分野)

日本医科大学耳鼻咽喉科学教室主催で2020年2月27, 28, 29日の3日間で開催予定でありました第38回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会・学術講演会ですが、COVID-19新型コロナウイルス感染症の影響で延期しておりました。さて今般のwithコロナの社会的現状を踏まえ、2020年9月15, 16日と縮小にはなりますが、日本耳鼻咽喉科学会のご許可、日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会理事会の審議を経て、開催させて頂くことになりました。会場は2月に開催予定していた同じパシフィコ横浜です。

現状の感染状況も考慮し、日本耳鼻咽喉科学会の関連学会としては初めての現地開催とWeb開催によるハイブリッド方式で開催することに正式に決定いたしました。学会開催にあたりましては、日本感染症学会理事長、東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授の舘田一博先生に感染対策アドバイザーをお願いし、COVID-19の感染拡大防止に向けた対策の準備をして開催できるよう、現在計画中です。舘田教授におかれましては第94回日本感染症学会を8月19日から3日間開催されるご予定であり、この学会も参考にさせて頂いております。

この学会では当初3日間だった開催日数を2日間に短縮する事となり、「一般演題、ポスター」並びに「一部のプログラム」に関しましては、Web上でのみの開催させて頂きたく思っております。ただ日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会の目玉でもあります奨励賞応募演題につきましては、現地開催での講演を是非にとお願いしております。また延期の影響、新型コロナの影響で特別講演や海外招聘の先生方にはお越し頂けない状況もあり、プログラムの内容、時間編成などは既にお配りしておりますプログラム・抄録集とは異なっておりますので、ホームページ上のプログラムと合わせ、今一度目を通して頂ければ幸いです。提出されております抄録集はそのまま使用でき、新しい講演者の抄録に関しましては当日配布させて頂きたく思っております。

会場のパシフィコ横浜は先生方よくご存じの学会の聖地であり、元町、中華街など横浜の名所も近く、便利な場所です。場所も広いので、ゆったり本学会を楽しんで頂くことが出来ると思います。会員懇親会はこの状況下では実施できませんが、感染対策の上、多くの先生方が懇親を深めて頂けるように会場の工夫はさせて頂きたく思います。

第38回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会・学術講演会に向けて、先生方を安全にお招きするために日本医科大学耳鼻咽喉科学教室員一同、さらに準備を重ねております。学会に足をお運び頂き、先生方と一緒に耳鼻咽喉科免疫・アレルギー学、新時代の始まり Beginning of the new Era を、最後の日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会として実感できればと思っております。ご参加のほど、宜しくお願い申し上げます。

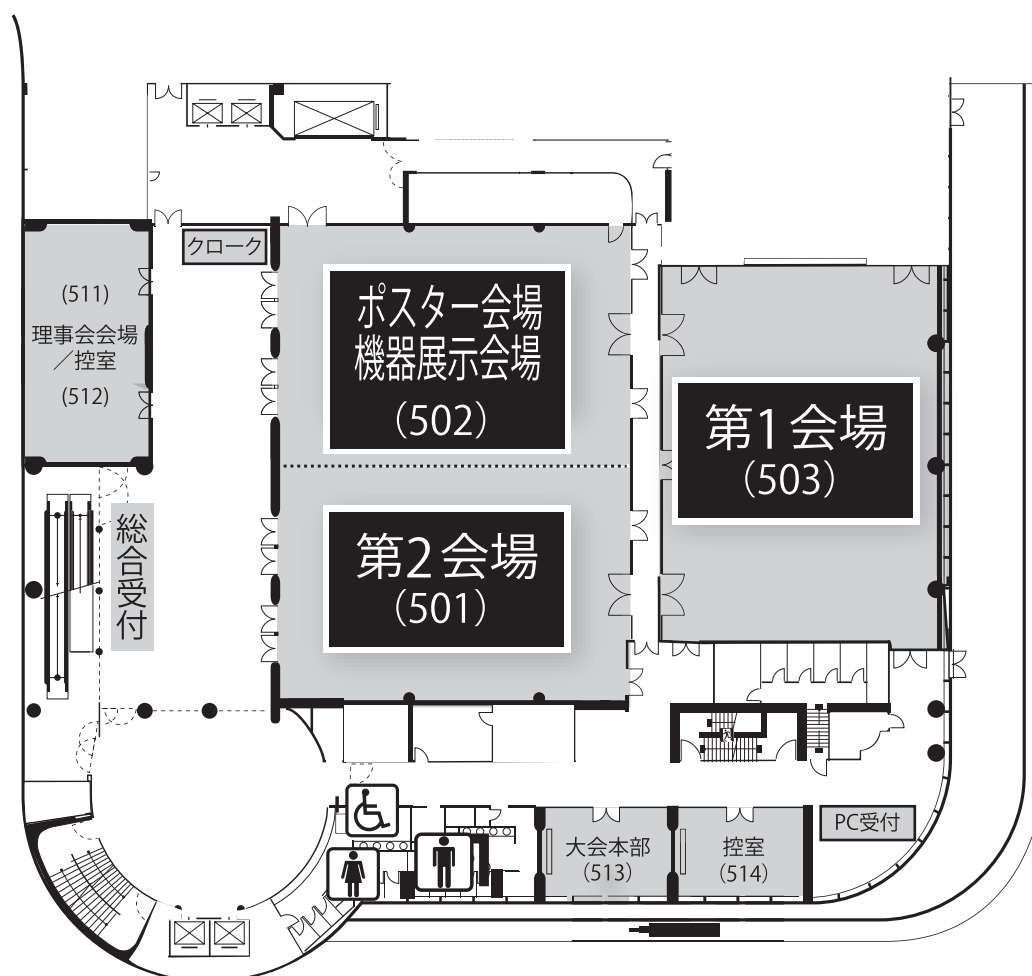
会場案内図

5階

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

パシフィコ横浜 会議センター 5階



現地開催版：参加者の方へ

現地開催概要

第 38 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

現地開催会期：2020 年 9 月 15 日（火）～9 月 16 日（水）

会場：パシフィコ横浜 会議センター 5 階

〒 220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

現地開催参加費：12,000 円（当日会場受付）

担当：日本医科大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野

会長：大久保公裕

現地開催参加をご検討されている皆様へ：ご注意

本学会は COVID-19 の感染拡大防止に向けた対策として、従来の現地開催（会場に集まってご発表いただく形式）と、オンデマンド Web 開催（収録した発表スライドをご自分のパソコン等で視聴していただく形式）とを併用するハイブリッド開催とすることに決定いたしました。

現地開催に参加される方には、万が一感染が発生した場合に備え、受付時に参加登録用紙にご記入いただき学会事務局にて管理させていただきますが、個人情報の取り扱いに十分配慮し、会期中に関連した COVID-19 発症者のなかった場合には速やかに破棄いたします。

現地参加と Web 参加とでは参加費の金額が違いますのでご注意ください。

会期を 3 日間から 2 日間に短縮開催する関係上、一般演題は Web 開催でのみの発表となりますこと、ご了承ください。

また、できるだけ現地開催時に行われた講演は Web 開催時にも見れるよう努力しておりますが、共催セミナーの一部は現地開催のみの講演になりますことあらかじめご了承ください。

なお、現地参加された方も後日開催される Web 学会の視聴は可能ですが、参加単位、領域／共通講習等の専門医単位は現地参加時にご取得いただいたものだけとなり、Web 開催での取得はできませんのでご注意ください。

（Web 開催にのみ参加の方は参加単位、領域／共通講習単位ともに、Web 上でご取得いただけます）

I. 参加受付

場 所：総合受付 パシフィコ横浜 会議センター 5 階

時 間：9 月 15 日（火） 7:30 ～ 16:50

9 月 16 日（水） 7:30 ～ 14:00

現地開催参加費：12,000 円

なお、医学部学生、初期臨床研修医の参加費は無料です。総合受付で学生証等、身分の証明できるものをご呈示ください。

抄録集：会員の方は、抄録集をご持参ください。

延期開催にあわせた抄録集は作成しておりません。

変更プログラムを当 HP にて公開いたしますので各自ご確認ください。

なお、2月に作成した抄録集は総合受付にて2,000円で販売しています。

現地開催に参加された方の Web 視聴について：

現地開催時に参加された方はネームカードに記載された ID 番号とパスワードで Web 学会を視聴することが可能です。ただし、参加単位、領域／共通講習等の専門医単位につきましては現地参加時にご取得いただいたものだけとなり、Web 学会の視聴時は対象になりませんのでご注意ください。

II. 学会参加登録と専門医講習受講登録

1. 登録システム

2019 年より学会参加登録と専門医講習受講登録に会員情報新システムが導入されました。2018 年 11 月末に全日耳鼻会員に郵送されました「日本耳鼻咽喉科学会会員カード (IC カード)」を持参してください。「日耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医証 (旧カード)」は使用できません。これらの登録は専門医が対象です。



1) 「IC カード」による登録が必要な時

- ① 学会参加登録：学会会場に来場時。
- ② 専門医講習受講登録：耳鼻咽喉科専門医領域講習，専門医共通講習の受講の入退室時。

なお，②にはまず①の登録が必要です。

2) 「IC カード」の使用方法

カードリーダー上にカードを置くと，接続されたコンピュータ上に名前が表示されますので，コンピュータ画面を確認してからカードを取ってください。

3) 「IC カード」を忘れた時

IC カードをお忘れになった場合は，学会参加登録は総合受付横の専門医受付にお申し出ください。

また，専門医講習受講は入退時に会場前の IC カードサポート窓口にて，入場退場の個別対応をさせていただきますので，必ずお越しください。

2. 学会参加登録

本学会への参加・登録によって2単位取得できます。

3. 専門医講習受講登録

本学術講演会では

- ・耳鼻咽喉科専門医領域講習を2セッション開催します
(1セッション1単位, 上限2単位まで取得可能)。
- ・専門医共通講習は1セッション開催します
(1単位取得可能)。

※専門医講習受講前に必ず学会参加登録を済ませてください。

1) 耳鼻咽喉科専門医領域講習

9月15日(火) 14:20～15:20 第1会場

教育講演1:「チャレンジする粘膜免疫学: 未来型ワクチンへの道のり」

演者: 清野 宏

9月16日(水) 13:00～14:00 第1会場

特別講演:「多層オミクス研究によるがんバイオマーカーの探索と社会実装を目指して」

演者: 本田一文

2) 専門医共通講習(倫理)

9月15日(火) 16:50～17:50 第1会場

教育講演2:「プロフェッショナリズムと医の倫理」

演者: 藤倉輝道

III. 新入会・年会費

新入会・会費納入等については下記事務局にご連絡ください。

なお、学会開催中も総合受付にて手続きが可能です。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-11 KAZEN 第2ビル6階

中西印刷株式会社東京営業部内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: jiao@nacoss.com

IV. インターネット

無料高速無線LAN(Wi-Fi)

館内にて、Wi-Fi対応機器による高速無線LAN接続サービスが無料でご利用いただけます。

Wi-Fiの設定: お手持ちのスマートフォン等でWi-Fi設定画面を開き、「SSID: FREE-PACIFICO」に接続してください。

V. クローク

会議センター5階(ホワイエ)にあります。なお、貴重品は各自でお持ちください。

VI. 機器展示・書籍販売・ドリンクコーナー

会議センター5階（502）にあります。

VII. 託児案内

新型コロナウイルス感染対策のため中止いたします。

VIII. 会員懇親会

新型コロナウイルス感染対策のため中止いたします。

IX. 禁止事項

1. 撮影・録音

講演者・座長の承諾を得ていない講演会場・ポスター会場でのカメラ・ビデオ・スマートフォン・携帯電話等による撮影および録音は禁止します。

2. 通話

会場内でのスマートフォン、携帯電話による通話は禁止します。会場内では電源をオフにするかマナーモードに設定してください。

X. 理事会・評議員会・総会

いずれもヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルで開催します。

- 理事会 : 9月14日（月） 15:45～17:15 3階 ボールルーム カンヌ
- 評議員会 : 9月14日（月） 17:30～18:30 3階 ボールルーム モナコ+ニース

XI. お問い合わせ

第38回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局

日本医科大学耳鼻咽喉科学教室内

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

事務局長：松延 毅

TEL: 03-3822-2131 FAX: 03-5685-0830

E-mail: ml_jiao38th@nms.ac.jp

運営事務局

株式会社 ドウ・コンベンション

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23

アクセスお茶の水ビル5F

TEL: 03-5289-7717 FAX: 03-5814-6828

E-mail: jiao2020-office@umin.ac.jp

学会開催中のお問合せ（学会開催中事務局）

パシフィコ横浜

TEL: 045-221-2155（総合案内）

学会開催中事務局 大会本部（513）

現地開催版：演者の方へ

はじめに

本学会では指定演題、奨励賞、共催セミナーのみ通常発表がございます。
一般演題（口演・ポスター）につきましてはWeb開催でのみの発表になります。
一般演題の方は後述の「Web開催版：演者の方へ」をご覧ください。

I. 利益相反（COI）開示

全ての発表において、発表者全員の利益相反（COI）について自己申告によって開示をお願いいたします。
下記のテンプレートをご使用いただきスライド2枚目に利益相反（COI）の自己申告を記載してください。
※本学会学会誌における利益相反（COI）については、利益相反（COI）開示のご案内をご参照くださいますようお願い申し上げます。

II. スライド作成方法

スライド作成要領

- アプリケーションは Windows 版 PowerPoint 2003・2007・2010・2013・2016 のいずれかで作成してください。
- スライドの画面サイズは 4:3, XGA (1024×768) で作成してください。
- データの容量を 100 MB (総量) までとしてください。
- Windows 標準フォントを使用してください。
- 動画データは PowerPoint にインサートし、Windows Media Player をご使用の場合のみ動画再生可能です。
- PowerPoint データ内に音声がある場合のみ、音声再生が可能です。

スライド1枚目には 演題番号, お名前, ご所属, お写真を
2枚目には利益相反（COI）について自己申告によって開示を
3枚目以降に発表スライドをお作りください。

1枚目から4枚目までのスライドひながたをご用意いたしましたので、HP (<http://jiao.umin.jp/38th/>) からダウンロードしご利用ください。

またファイルのお名前は「演題番号+お名前」とし保存してください。

例) P48 免疫太郎.ppt

III. PC（データ）受付

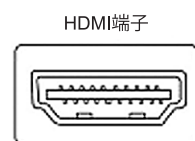
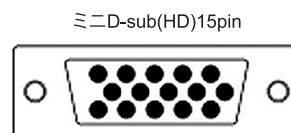
発表の1時間前（早朝セッションは30分前）までにPC受付にお越しください。

1) USB メモリーによる受付

- 記録媒体はUSBメモリーのための受付とします。
- ファイル名は、演題番号、発表者氏名（漢字）に拡張子（.ppt）をつけてください。
（例：O-48 免疫太郎.ppt）
- お預かりしたデータは発表後、事務局が確実に消去します。
- 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちください。

2) ノート PC による受付

- ノート PC を持ち込みされる方も、PC 受付が必要です。
- 持参される PC での外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- 外部出力端子は D-Sub-15pin または HDMI です。接続できる変換コネクタが必要な場合は各自持参してください。
- バッテリー切れを防ぐために電源アダプターを持参してください。



IV. 奨励賞発表者の方へ

発表資格

本学会会則により、演者は正会員に限られます。共同演者は正会員または臨時会員に限ります。非会員の方は至急入会手続きをお取りください。

V. 後抄録集原稿の提出

後抄録は「耳鼻咽喉科免疫アレルギー誌：38 巻 4 号（2020 年 12 月）」に刊行する予定です。後抄録の対象は、奨励賞・一般口演・ポスター発表です。2020 年 9 月 18 日までにオンラインで登録をお願いいたします。

後抄録登録方法の詳細は <http://jjiao.umin.jp/38th/extract/> をご確認ください（提出はオンラインのみ）。
なお、学会開催中の原稿の受付は行っておりません。

後抄録についてのお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会編集事務局（担当：矢部、澤田）

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 KAZEN 第 2 ビル 6 階 中西印刷（株）内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: jjiao-ed@nacos.com

現地開催版：座長の方へ

- 1) セッション開始 15 分前に各会場までお越しいただき、会場前方の「次座長席」にお座りください。
- 2) タイムテーブルに従い定刻通りの進行をお願いいたします。

Web 開催版：参加者の方へ

Web 開催概要

第 38 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

Web 学会開催期間（Web で映像を視聴できる期間）：2020 年 10 月 1 日（木）～ 10 月 7 日（水）

Web 学会参加費：10,000 円（オンライン登録）

担当：日本医科大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野

会長：大久保公裕

Web 開催参加をご検討されている皆様へ：ご注意

本学会は COVID-19 の感染拡大防止に向けた対策として、従来の現地開催（会場に集まってご発表いただく形式）と、オンデマンド Web 開催（収録した発表スライドをご自分のパソコン等で視聴していただく形式）とを併用するハイブリッド開催とすることに決定いたしました。

現地参加と Web 参加とでは参加費の金額が違いますのでご注意ください。

会期を 3 日間から 2 日間に短縮開催する関係上、一般演題は Web 開催でのみの発表となりますこと、ご了承ください。

また、できるだけ現地開催時に行われた講演は Web 開催時にも見れるよう努力しておりますが、共催セミナーの一部は現地開催のみの講演になりますことあらかじめご了承ください。

Web 開催にのみ参加の方も、参加単位、領域／共通講習単位ともに、Web 上でご取得いただけます。

I. 参加受付

Web 学会参加登録期間：2020 年 8 月 15 日（土）～ 10 月 7 日（水）

Web 学会参加費：10,000 円

医学部学生、初期臨床研修医：無料

Web 開催の学会参加を希望される医学部学生、初期臨床研修医の方は、HP（<http://jiao.umin.jp/38th/webmeeting/info.html>）から「医学部学生、初期臨床研修医用 Web 学会参加学会参加願出」をダウンロードいただき、9 月 7 日までに第 38 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局（ml_jiao38th@nms.ac.jp）までメールにてご申請ください。

参加登録方法：

HP（<http://jiao.umin.jp/38th/>）の「Web 学会参加登録」のボタンよりお進みいただき必要事項の入力と、参加費の支払いをカード決済でお済ませください。

参加登録が確定するとメールにて個々の閲覧用のログイン ID とパスワードを発行致します。この ID とパスワードを使い、Web 学会開催期間中に Web サイトからログインしてください。なお、今回の Web 学会の参加申込はオンラインによる受付のみとし、決済方法はクレジットカードのみとさせていただきます。

ご利用いただけるカードは VISA、MasterCard、JCB、AMEX、Diners カードです。ご理解いた

だけですようお願いいたします。

取消について：

お申し込み後の取り消しについてはいかなる理由であってもお受けいたしかねますので予めご了承ください。

参加証明書と領収書について：

Web学会のサイトに入りますと、参加証明書と領収書が記載されたネームカードをPDF形式でダウンロードできるようにしてございます。

ネームカードには登録時にご記入いただいたご所属と名前が印字されるようにしてございます。

Web学会終了後にはダウンロードできなくなりますので、サイトアクセス時に必ずダウンロードしご保管ください。

Web学会終了後のネームカードの再発行等はいたしませんのでご注意ください。

抄録集：

延期開催にあわせた抄録集は作成しておりません。

変更プログラムをHP公開いたしますので各自ご確認ください。

II. 学会参加登録と専門医講習受講登録

参加登録される際に、お名前、フリガナ、ご所属、日耳鼻会員番号の記入をしていただきます。

単位付与の判定に必須な項目ですので間違いのないようご記入ください。

入力ミスにより単位付与されなかった場合の保証はいたしませんのでご注意ください。

学会参加登録

日本耳鼻咽喉科学会専門医制度の「関連する学会」（2単位）に認定されています。

Web学会参加登録を済ませた方に発行される個別のIDとパスワードでWeb学会にログインいただきご視聴ください。

ログインの履歴をもって参加登録の単位付与といたします。

なお、Web学会サイト内のメニュー上に「参加証明書控え」が表示されますので、各自ダウンロードし控えとしてお持ちください。

日本耳鼻咽喉科学会の会員専用ページ（マイページ）に単位が反映されるまでは、しばらく時間がかかりますが、単位付与を確認するまで「参加証明書控え」はご保管いただけますようお願いいたします。

耳鼻咽喉科専門医領域講習

Web学会サイト内の領域講習をクリックしご視聴ください。

視聴前にIDとパスワードを確認させていただき、ログインした時間を記録させていただきます。

講習動画は、早送り、巻き戻し等が出来ないように制御してございます。講習を最後まで見れるお時間のある時にご視聴ください。

講習動画が終わると、「受講終了ボタン」が現れますので、これをクリックし、「受講証明書控え」を必ずダウンロードしてください。

「受講終了ボタン」を押し「受講証明書控え」をダウンロードしてください。

受講証明書控えをダウンロードした時間をもって動画を全てみたログアウトの時間として記録させ

ていただきます。

ログインの時間からログアウトまでの時間が動画再生時間以上であることの確認をもって単位付与となります。

ログインだけでは単位付与になりませんのでご注意ください。

日耳鼻の会員専用ページ（マイページ）に単位が反映されるまでは、しばらく時間がかかりますが、単位付与を確認するまで「受講証明書控え」はご保管いただけますようお願いいたします。

専門医共通講習

Web 学会サイト内の共通講習をクリックしご視聴ください。

視聴前に ID とパスワードを確認させていただき、ログインした時間を記録させていただきます。

講習動画は、早送り、巻き戻し等が出来ないように制御してございます。講習を最後まで見れるお時間のある時にご視聴ください。

講習動画が終わると、「受講テスト」というボタンが現れますので、お進みいただき E-ラーニングテスト（設問数 5 問）にお答えください。

正解が 4 問（80%）以上になりますと次に進め、「受講終了ボタン」というボタンが現れますので、これをクリックし、表示される設問にお答えください。

設問に 80% 以上正解しますと、「受講証明書控え」がダウンロードできるようになりますので、必ずダウンロードしてください。

ログインの時間からログアウトまでの時間が動画再生時間以上であることと、80% 以上のテストの正解率をもって単位付与となります。

ログインだけでは単位付与になりませんのでご注意ください。

日耳鼻の会員専用ページ（マイページ）に単位が反映されるまでは、しばらく時間がかかりますが、単位付与を確認するまで「受講証明書控え」はご保管いただけますようお願いいたします。

III. 新入会・年度会費

新入会・会費納入等については下記事務局にご連絡ください。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 KAZEN 第 2 ビル 6 階

中西印刷株式会社東京営業部内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: jiao@nacos.com

IV. 機器展示

Web 学会のサイト内に機器展示コーナーをご用意いたします。

V. 禁止事項

講演動画のダウンロード・スクリーンショット・撮影・録音は禁止します。

VI. 個人情報の取扱いについて

登録時にお預かりする個人情報は第38回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会の運営（講習会単位認定に係る手続き，参加登録など）に関連する業務遂行の目的にのみ利用いたします。

VII. 推奨ブラウザ

[Windows]

- ・ Google Chrome（最新版）
- ・ Mozilla Firefox（最新版）
- ・ Microsoft Edge（最新版）

※ Internet Explorer では視聴できません。Microsoft Edge をご使用ください。

[Macintosh]

- ・ Safari（最新版）
- ・ Google Chrome for mac（最新版）

VIII. Web 開催サポートデスク

システムサポート

ジャックビーンズ 担当：横山達也

TEL: 055-233-4580

E-mail: jiao38websys@amsys.jp

Web 開催版：演者の方へ

はじめに

Web 学会では指定演題、奨励賞、共催セミナー（一部）、一般演題（口演・ポスター）の発表ございます。

現地開催で発表された方は、会場で収録した動画を使用しますので、改めて Web 開催用にデータをお作りいただく必要はございません。

一般演題発表者の方へ

I. 一般演題の発表方法について

第 38 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会は COVID-19 の感染拡大防止に向けた対策として、現地開催の会期を 3 日間から 2 日間に短縮開催する関係上、一般演題は Web 開催（オンライン）でのみの発表となります。

口演／ポスターともに会場での実発表はございません。

下記の要領でスライドをご作成いただき、PDF 出力したものを登録期間内にご提出ください。

（今学会では口演・ポスターのスライド作成方法は同一にさせていただきます。）

II. 発表資格

本学会会則により、演者は正会員に限られます。共同演者は正会員または臨時会員に限ります。非会員の方は至急入会手続きをお取りください。

また、Web 学会での発表においても演者の参加登録は必須です。

Web 学会参加登録期間中にご登録いただき、ID とパスワードをご取得ください。

なお、現地開催に参加される方は、総合受付で参加費を払う際に、一般演題の発表者である旨をお申し出ください。

III. 利益相反（COI）開示

全ての発表において、発表者全員の利益相反（COI）について自己申告によって開示をお願いいたします。

下記のテンプレートをご使用いただきスライド 2 枚目に利益相反（COI）の自己申告を記載してください。

※本学会学会誌における利益相反（COI）については、利益相反（COI）開示のご案内をご参照くださいますようお願い申し上げます。

IV. 一般演題 スライド作成方法

スライド作成要領（口演・ポスター共通）

- アプリケーションは Microsoft PowerPoint で作成してください。
- スライドの画面サイズは 4:3, XGA (1024×768) で作成してください。
- PDF 内の動画埋込みは不可といたします。
- Windows 標準フォントを使用してください。

スライド 1 枚目には 演題番号, お名前, ご所属, お写真を
2 枚目には利益相反 (COI) について自己申告によって開示を
3 枚目以降に発表スライドをお作りください。

1 枚目から 4 枚目までのスライドひながたをご用意いたしましたので, HP (<http://jjiao.umin.jp/38th/>)
からダウンロードしご利用ください。

またファイルのお名前は「演題番号+お名前」とし保存してください。

例) P48 免疫太郎.ppt

スライドが完成しましたら, PDF で保存してください。

PDF への変更方法は HP (<http://jjiao.umin.jp/38th/>) をご覧ください。

V. スライドの提出方法

記作成した PDF を提出期限内に HP (<http://jjiao.umin.jp/38th/>) からアップロードしてください。

コメント欄にお名前と演題番号をご入力ください。

発表データ提出期間: 8 月 29 日 (土) までです。

VI. 「後抄録集」原稿提出

後抄録は「耳鼻咽喉科免疫アレルギー誌: 38 巻 4 号 (2020 年 12 月)」に刊行する予定です。

後抄録の対象は, 奨励賞・一般口演・ポスター発表です。

2020 年 9 月 18 日までにオンラインで登録をお願いいたします。

後抄録についてのお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会編集事務局 (担当: 矢部, 澤田)

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 KAZEN 第 2 ビル 6 階 中西印刷 (株) 内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: jjiao-ed@nacos.com

Web 開催サポートデスク

システムサポート

ジャックビーンズ 担当: 横山達也

TEL: 055-233-4580

E-mail: jjiao38websys@amsys.jp

第 38 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

1日目：2020年9月15日（火）		
	第1会場	第2会場
	5階 503	5階 501
8:00	開会式 (7:40～8:00)	
	モーニングセミナー1 (8:00～8:50) 抗ヒスタミン薬と風邪治療・アレルギー性鼻炎治療」 司会：出島健司 演者：橋ロー弘 共催：田辺三菱製薬株式会社／帝國製薬株式会社	
9:00	奨励賞応募演題1 (9:00～9:48) S-1～S-4 座長：池田勝久，春名眞一	共催セミナー1（旧イブニングセミナー2） (9:00～9:50) 「舌下免疫療法のup-to date —長期効果，スギ花粉とダニSLITの併用を含めて—」 司会：藤枝重治 演者：後藤 穰 共催：鳥居薬品株式会社
10:00	奨励賞応募演題2 (9:48～10:36) S-5～S-8 座長：河田 了	共催セミナー2（旧ランチョンセミナー3） (10:00～10:50) 「Treatment of allergic rhinitis with the new generation of antihistamines」 司会：岡野光博 演者：De-Yun Wang 共催：Meiji Seikaファルマ株式会社／大鵬薬品工業株式会社
11:00	パネルディスカッション1 国際セッション (10:40～11:50) 「上気道好酸球性炎症／ eosinophilic inflammation of upper airway」 司会：藤枝重治 パネリスト：De-Yun Wang，松根彰志，意元義政，津田 武	
12:00	ランチョンセミナー1（旧ランチョンセミナー2） (12:00～12:50) 「内科医から見た扁桃病巣疾患と慢性上咽頭炎関連疾患」 司会：原渕保明 演者：堀田 修 共催：杏林製薬株式会社	ランチョンセミナー2（旧ランチョンセミナー1） (12:00～12:50) 「慢性副鼻腔炎の病態 up-to-date」 司会：吉川 衛 演者：太田伸男 共催：サノフィ株式会社
13:00	総会 (13:00～13:30)	
14:00	特別企画（13:30～14:10） 「日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会を振り返るそして発展へ」 司会：川内秀之 演者：竹中 洋，黒野祐一，藤枝重治，大久保公裕	
	教育講演1【領域講習】 (14:20～15:20) 「チャレンジする粘膜免疫学：未来型ワクチンへの道のり」 司会：保富宗城 演者：清野 宏	教育講演1【領域講習】 (14:20～15:20) サテライト会場
16:00	シンポジウム (15:30～16:40) 「アレルギー免疫療法の現状と未来」 司会：後藤 穰，坂下雅文 シンポジスト：松田将也，飯沼 智久，新井宏幸，加藤幸宣	
17:00	教育講演2：専門医共通講習（倫理） (16:50～17:50) 「プロフェSSIONナリズムと医の倫理」 司会：太久保公裕 演者：藤倉輝道	教育講演2：専門医共通講習（倫理） (16:50～17:50) サテライト会場
18:00		

2日目：2020年9月16日（水）		
	第1会場	第2会場
	5階 503	5階 501
8:00	モーニングセミナー2 (8:00～8:50) 「アレルギー性鼻炎に対する内視鏡下鼻内手術Ⅰ型： コーンビームCTを用いた術前評価と術式の工夫」 座長：竹内万彦 演者：中川隆之 共催：株式会社モリタ製作所	
9:00	パネルディスカッション2 (9:00～10:10) 「難治性中耳炎の現況」 司会：池田勝久，松原 篤 パネリスト：岡田昌浩，工藤直美，松延 毅，神崎 晶	共催セミナー3（旧ランチョンセミナー5） (9:00～9:50) 「重症花粉症治療におけるオマリズマブの有用性」 座長：山田武千代 演者：岡野光博 共催：ノバルティスファーマ株式会社
10:00	パネルディスカッション3 (10:20～11:30) 「次世代がん免疫療法」 司会：近松一朗 パネリスト：辻川敬裕，高橋秀行，熊井琢美，近藤 悟	共催セミナー4（旧イブニングセミナー1） (10:00～11:00) 「耳鼻の免疫アレルギー研究，その歩み」 司会：黒野祐一 演者：富山俊一，大塚博邦 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社
12:00	ランチョンセミナー3（旧ランチョンセミナー4） (12:00～12:50) 「あなたの外来にも来る原発性免疫不全症」 司会：田中康広 演者：今井耕輔 共催：マキチエ株式会社	ランチョンセミナー4（旧ランチョンセミナー6） (12:00～12:50) 「アレルギー性鼻炎と睡眠の知られざる関係」 座長：岩井 大 演者：千葉伸太郎 共催：久光製薬株式会社
13:00	特別講演【領域講習】 (13:00～14:00) 「多層オミクス研究によるがんバイオマーカーの探索と社会実装を目指して」 司会：折館伸彦 演者：本田一文	特別講演【領域講習】 (13:00～14:00) サテライト会場
15:00	パネルディスカッション4 (14:10～15:00) 「ここまでわかった扁桃病巣疾患（TIAS）」 司会：原渕保明 パネリスト：高原 幹，大堀純一郎，河野正充	
16:00	閉会式	
17:00		
18:00		

現地開催での発表のみ（オンデマンド配信のない講演）

演題取り下げ（現地開催での発表もオンデマンド配信のない講演）

延期開催に伴い、追加変更された講演

代理発表

会場にお越しになれない先生

第38回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

9月15日(火) 第1会場(5階 503)

モーニングセミナー1 (8:00～8:50)

司会：出島健司(京都第二赤十字病院)

MS-1 抗ヒスタミン薬と風邪治療・アレルギー性鼻炎治療

橋口一弘

ふたばクリニック

共催：田辺三菱製薬株式会社／帝國製薬株式会社

奨励賞応募演題1 (9:00～9:48)

座長：池田勝久(順天堂大学)、春名眞一(獨協医科大学)

S-1 スギ花粉症に対する免疫療法の効果判定は可能か？

北谷 栞¹、太田伸男¹、草野祐典¹、鈴木直弘²、東海林史¹、柴原義博²、草刈千賀志²、
榎本雅夫³、岡本美孝⁴、湯田厚司⁵

¹東北医科薬科大学 耳鼻咽喉科、²仙台市、³鳥取大学医学部 耳鼻咽喉科、

⁴千葉労災病院 耳鼻咽喉科、⁵津市

S-2 当院における Open Septorhinoplasty 施行例の検討

木村将吾、中丸裕爾、鈴木正宣、本間あや、中藺 彬、本間明宏

北海道大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

S-3 好酸球性鼻副鼻腔炎における抑制系サイトカイン IL-27, IL-10, IL-35 の動態について

山本小百合、神前英明、新井宏幸、戸嶋一郎、清水志乃、清水猛史

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科

S-4 ECRS 鼻茸組織中好酸球における CD69 分子の発現と分子機能的役割

尹 泰貴、神田 晃、小林良樹、朝子幹也、岩井 大

関西医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

奨励賞応募演題2 (9:48～10:36)

座長：折田頼尚(熊本大学)、河田 了(大阪医科大学)

S-5 頭頸部扁平上皮癌患者における循環癌細胞の同定とその臨床意義

多田紘恵、高橋秀行、桑原有紀、近松一郎

群馬大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

S-6 STING 活性化療法とシスプラチン療法の併用は扁平上皮癌治療において相乗効果を発揮する

原測翔平^{1,3}, 矢島優己³, 林 隆介^{1,3}, 大原賢三^{1,3}, 野崎 結^{1,3}, 熊井琢美^{2,3},
長門利純³, 岸部 幹¹, 高原 幹¹, 片田彰博¹, 林 達哉², 小林博也³, 原測保明¹

¹ 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座,

² 旭川医科大学 頭頸部癌先端の診断・治療学講座,

³ 旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野

S-7 High-dimensional single cell analysis を用いた PI3K γ 阻害による腫瘍増殖抑制機構の解明と臨床応用

高橋秀行^{1,2}, 近松一朗¹, Judith A. Varner²

¹ 群馬大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学,

² カリフォルニア大学 サンディエゴ校 モーレスキャンサーセンター

S-8 腸内細菌叢と吸入性抗原の感作の関連について

—岩木健康増進プロジェクト 2016 の結果から—

野村彩美, 松原 篤

弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座

パネルディスカッション 1 国際セッション「上気道好酸球性炎症／eosinophilic inflammation of upper airway」(10:40～11:50)

司会：藤枝重治（福井大学）、~~清水猛史（滋賀医科大学）~~

PD1-1 Assessment of tissue eosinophilia in patients with chronic rhinosinusitis with nasal polyps

De-Yun Wang

Department of Otolaryngology, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

PD1-3 Possibility and issue of local allergic reaction in turbinate mucosa

Shoji Matsune

Nippon Medical School, Musashikosugi Hospital

PD1-4 The significant relationships between fibrinolysis and coagulation factors in the pathogenesis of nasal polyps

Yoshimasa Imoto

Department of Otorhinolaryngology Head & Neck Surgery, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui

PD1-5 The function of eosinophil-derived neurotoxin in ECRS pathogenesis

Takeshi Tsuda^{1,2}

¹ Department of Otorhinolaryngology–Head and Neck Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, ² Department of Otorhinolaryngology–Head and Neck Surgery, National Hospital organization Osaka National Hospital

ランチョンセミナー1 (旧ランチョンセミナー2) (12:00 ~ 12:50)

司会：原渕保明 (旭川医科大学)

LS-2 内科医から見た扁桃病巣疾患と慢性上咽頭炎関連疾患

堀田 修

堀田修クリニック (HOC)

共催：杏林製薬株式会社

特別企画「日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会を振り返るそして発展へ」 (13:30 ~ 14:10)

司会：川内秀之 (島根大学)

竹中 洋

京都府立医科大学学長

黒野祐一

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

藤枝重治

福井大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

大久保公裕

日本医科大学大学院医学系研究科 頭頸部・感覚器科学分野

教育講演1「領域講習」(14:20 ~ 15:20)

司会：保富宗城 (和歌山県立医科大学)

チャレンジする粘膜免疫学：未来型ワクチンへの道のり

清野 宏^{1,2,3}

¹カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部 内科学講座消化器内科分野,

²東京大学医科学研究所 東京大学特任教授部門 粘膜免疫学部門,

³千葉大学大学院医学薬学府 国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究拠点

シンポジウム「アレルギー免疫療法の現状と未来」(15:30 ~ 16:40)

司会：後藤 穰 (日本医科大学), 坂下雅文 (福井大学)

SP-1 皮下免疫療法を行ったヒトおよびマウスのアレルギーにおける Foxp3⁺ Treg
細胞および Foxp3⁻ Tr1 細胞の解析

松田将也¹, 寺田哲也², 北谷和之¹, 河田 了², 奈邊 健¹

¹摂南大学薬学部 薬効薬理学研究室, ²大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

SP-2 免疫療法に対する基礎と臨床からのアプローチ

飯沼智久

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学教室

SP-3 舌下免疫療法の作用機序—制御性B細胞による病原特異的Th2細胞, Tfh2細胞のアポトーシス誘導

新井宏幸

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科

SP-4 モデルマウスを用いた花粉-食物アレルギー症候群の病態解明と治療戦略

加藤幸宣

福井大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教育講演2：専門医共通講習（倫理）（16:50～17:50）

司会：~~竹内裕美（鳥取大学）~~ 大久保公裕（日本医科大学）

プロフェッショナリズムと医の倫理

藤倉輝道

日本医科大学 医学教育センター 医学教育研究開発部門

9月15日（火） 第2会場（5階 501）

共催セミナー1（旧イブニングセミナー2）（9:00～9:50）

司会：藤枝重治（福井大学）

ES-2 舌下免疫療法の up-to date—長期効果，スギ花粉とダニ SLIT の併用を含めて—
後藤 穰
日本医科大学 耳鼻咽喉科

共催：鳥居薬品株式会社

共催セミナー2（旧ランチョンセミナー3）（10:00～10:40）

司会：岡野光博（国際医療福祉大学）

LS-3 Treatment of allergic rhinitis with the new generation of antihistamines

De-Yun Wang

Department of Otolaryngology, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社／大鵬薬品工業株式会社

ランチョンセミナー2（旧ランチョンセミナー1）（12:00～12:50）

司会：吉川 衛（東邦大学医療センター大橋病院）

LS-1 慢性副鼻腔炎の病態 up-to-date

太田伸男

東北医科薬科大学 耳鼻咽喉科

共催：サノフィ株式会社

9月16日（水） 第1会場（5階 503）

モーニングセミナー2（8:00～8:50）

司会：竹内万彦（三重大学）

MS-2 アレルギー性鼻炎に対する内視鏡下鼻内手術Ⅰ型：
コーンビームCTを用いた術前評価と術式の工夫

中川隆之

京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

共催：株式会社モリタ製作所

パネルディスカッション2「難治性中耳炎の現況：その病態と治療の観点から」（9:00～10:10）

司会：池田勝久（順天堂大学），松原 篤（弘前大学）

PD2-1 ANCA 関連血管炎性中耳炎

岡田昌浩

愛媛大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

PD2-2 好酸球性中耳炎の病態

工藤直美

弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座

PD2-3 悪性外耳道炎・頭蓋底骨髓炎

松延 毅

日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

PD2-4 結核性中耳炎

神崎 晶

慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科

パネルディスカッション3「次世代がん免疫療法」（10:20～11:30）

司会：近松一朗（群馬大学），~~吉崎智一（金沢大学）~~

PD3-1 新規・既存免疫療法の複合的アプローチに向けた免疫的がん微小環境解析

辻川敬裕

京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

PD3-2 c-Kit 依存性 tissue resident macrophage をターゲットとした新規免疫療法

高橋秀行, Paulina Pathria, Megan M. Kaneda, Sang Min Lee, Ryan M. Shepard,
Ann Shih, Marc A. Paradise, David A. Cheres, Judith A. Varner

群馬大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

PD3-3 頭頸部癌に有効なペプチドワクチン療法を目指して

熊井琢美

旭川医科大学 頭頸部癌先端の診断・治療学

PD3-4 上咽頭癌の免疫療法の展望

近藤 悟

金沢大学医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

ランチョンセミナー3 (旧ランチョンセミナー4) (12:00 ~ 12:50)

司会：田中康広 (獨協医科大学埼玉医療センター)

LS-4 あなたの外来にも来る原発性免疫不全症

今井耕輔^{1,2}

¹東京医科歯科大学 小児科, ²茨城県小児・周産期地域医療学

共催：マキチエ株式会社

特別講演「領域講習」(13:00 ~ 14:00)

司会：折館伸彦 (横浜市立大学)

多層オミクス研究によるがんバイオマーカーの探索と社会実装を目指して

本田一文^{1,2}

¹日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学,

²国立がん研究センター研究所早期診断バイオマーカー開発部門

パネルディスカッション4「ここまでわかった扁桃病巣疾患：
Tonsil-induced autoimmune/inflammatory syndrome (TIAS)」(14:10 ~ 15:00)

司会：原渕保明 (旭川医科大学)

PD4-1 掌蹠膿疱症に対する扁桃摘出術の効果と予後因子の検討

高原 幹

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

PD4-2 胸肋鎖骨過形成症, 掌蹠嚢胞性骨関節炎, SAPHO 症候群に対する
扁桃摘出術のエビデンス

大堀純一郎

鹿児島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

PD4-3 ここまでわかった扁桃病巣疾患：Tonsil-induced autoimmune/inflammatory
syndrome (TIAS) PFAPA 症候群

河野正充

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

9月16日（水） 第2会場（5階 501）

共催セミナー3（旧ランチョンセミナー5）（9:00～9:50）

司会：山田武千代（秋田大学）

LS-5 重症花粉症治療におけるオマリズマブの有用性

岡野光博

国際医療福祉大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科

共催：ノバルティスファーマ株式会社

共催セミナー4（旧イブニングセミナー1）「耳鼻の免疫アレルギー研究，その歩み」（10:00～11:00）

司会：黒野祐一（鹿児島大学）

ES-1-1 内耳免疫の基礎と臨床—内耳免疫傷害モデル開発研究と内耳自己免疫病
5年以上観察 337 症例の治療成績—

富山俊一^{1,2}

¹大宮中央総合病院 耳鼻咽喉科，²日本医科大学 耳鼻咽喉科

ES-1-2 スギ花粉症における隠れた増悪因子

大塚博邦

大塚耳鼻咽喉科医院

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー4（旧ランチョンセミナー6）（12:00～12:50）

司会：岩井 大（関西医科大学）

LS-6 アレルギー性鼻炎と睡眠の知られざる関係

千葉伸太郎^{1,2}

¹太田睡眠科学センター，²慈恵医大 耳鼻咽喉科学教室

共催：久光製薬株式会社

一般演題

一般演題 1：アレルギー基礎

O-1 抗原特異的 Th2 細胞による新規ヒスタミン産生機構の解明

岩崎成仁^{1,2}, 寺脇正剛¹, 阪本浩一², 角南貴司子², 徳永文稔¹

¹大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態学,

²大阪市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学

O-2 上気道自然型アレルギー炎症における ω 3 脂肪酸代謝物の抑制作用

戸嶋一郎, 原 思織, 山本小百合, 神前英明, 清水志乃, 清水猛史

滋賀医科大学医学部 耳鼻咽喉科

O-3 ナローバンド UVB 光線療法のアレルギー性鼻炎モデルラットの鼻粘膜ヒスタミン H₁ 受容体遺伝子発現亢進と鼻症状に対する効果

神村盛一郎¹, 北村嘉章¹, 藤井達也², 水口博之³, 福井裕行⁴, 武田憲昭¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 耳鼻咽喉科, ²JA 高知病院 耳鼻咽喉科,

³大阪大谷大学薬学部 薬理学講座, ⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子難治性疾患学

O-4 アレルギー性鼻炎のヒスタミン H₁ 受容体遺伝子発現亢進機構に対するステロイドの抑制効果の検討

北村嘉章¹, 神村盛一郎¹, 中野誠一², 水口博之³, 福井裕行⁴, 武田憲昭¹

¹徳島大学医学部 耳鼻咽喉科, ²国立高知病院 耳鼻咽喉科,

³大阪大谷大学薬学部 薬理学講座, ⁴徳島大学大学院 分子難治性疾患学分野

O-5 アレルギー性鼻炎患者の睡眠と内因性メラトニンの評価

本間あや^{1,2}, Vishnu S Sunkaraneni³, Debra J Skene², 鈴木 正宣¹, 中丸裕爾¹, 本間明宏¹

¹北海道大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室,

²英国サリー大学保健医療学部 時間生物学科, ³英国王立サリー州病院 耳鼻咽喉科

一般演題 2：アレルギー基礎・その他

O-6 スギ花粉症患者におけるヒノキ花粉主要アレルゲン Cha o 3 特異的 IgE 抗体価陽性率について

神前英明¹, 湯田厚司^{1,2}, 長田年弘³, 清水猛史¹

¹滋賀医科大学医学部 耳鼻咽喉科, ²ゆたクリニック,

³大鵬薬品株式会社研究本部第二研究室

O-7 スギ花粉症患者のスギ飛散がペリオスチンに及ぼす影響の検討

中村陽祐¹, 中森基貴¹, 横山裕子¹, 榎本雅夫², 竹内裕美¹

¹鳥取大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野,

²NPO 日本健康増進支援機構

O-8 スギ花粉症に対する舌下免疫療法の作用メカニズムについての検討

寺田哲也¹, 菊岡祐介^{1,2}, 稲中優子¹, 河田 了¹, 松田将也³, 奈邊 健³

¹大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ²市立ひらかた病院 耳鼻咽喉科,

³摂南大学薬学部 薬効薬理学

O-9 アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎と好酸球性副鼻腔炎における局所 IgE の比較検討

武田和也¹, 端山昌樹², 前田陽平², 津田 武², 小幡 翔², 中谷彩香², 識名 崇³, 猪原秀典²

¹大阪医療センター 耳鼻咽喉科,

²大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学,

³市立池田病院 耳鼻いんこう科

O-10 好酸球性副鼻腔炎において SEMA4D が果たす機能

～血管透過性作用について～

津田 武¹, 前田陽平¹, 武田和也^{1,2}, 小幡 翔¹, 中谷彩香¹, 端山昌樹¹, 猪原秀典¹

¹大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学,

²大阪医療センター 耳鼻咽喉科

O-11 スギ花粉症舌下免疫療法治療薬により好酸球性胃腸疾患を生じた1例

安田 誠¹, 富井美奈子¹, 乾 隆昭¹, 平野 滋¹, 中島卓利²

¹京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室,

²社会医療法人愛仁会 高槻病院 内科

一般演題3：好酸球性炎症

O-12 誘導型一酸化窒素合成酵素（NOS2）の遺伝子多型と副鼻腔炎との関連性について

竹本浩太, 西田 学, 築家伸幸, 竹野幸夫

広島大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科

O-13 好酸球性副鼻腔炎における SEMA7A の発現

前田陽平¹, 小幡 翔¹, 津田 武¹, 端山昌樹¹, 武田和也^{1,2}, 中谷彩香¹, 猪原秀典¹

¹大阪大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, ²大阪医療センター 耳鼻咽喉科

O-14 抗 IL-5 製剤投与後の好酸球性副鼻腔炎患者の鼻茸中好酸球数の評価

松山敏之, 多田紘恵, 高橋秀行, 近松一郎

群馬大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

O-15 好酸球性副鼻腔炎に合併する喘息に及ぼす内視鏡下鼻副鼻腔手術の効果とペリオスチン

太田伸男¹, 草野祐典¹, 鈴木祐輔², 東海林史¹, 柴原義博³, 草刈千賀志³, 鈴木直弘³, 稲村直樹⁴, 藤枝重治⁵

¹東北医科薬科大学医学部 耳鼻咽喉科, ²山形大学医学部 耳鼻咽喉頭頸部外科,

³仙台市, ⁴名取市, ⁵福井大学医学部 耳鼻咽喉頭頸部外科

O-16 好酸球性副鼻腔炎組織におけるシャルコー・ライデン結晶の評価

齋藤秀和¹, 宮部 結^{1,2}, 意元義政³, 藤枝重治³, 山田武千代¹, 廣川 誠², 植木重治²¹秋田大学医学部医学系研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座,²秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座,³福井大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

O-17 岡山大学病院における慢性副鼻腔に対する加療の現状

檜垣貴哉¹, 野田実里^{1,2}, 小山貴久¹, 村井 綾¹, 假谷 伸¹, 西崎和則¹¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科,²岩国医療センター 耳鼻いんこう科

一般演題4：扁桃・自己免疫

O-18 扁桃病巣疾患の関節痛の検討

土井 彰¹, 公文義雄², 赤木博文³¹高知医療センター 耳鼻咽喉科, ²近森病院 リウマチ・膠原病科,³独立行政法人 南岡山医療センター 耳鼻咽喉科

O-19 IgA 腎症におけるホスホリルコリン特異的免疫応答の意義と腎予後

地村友宏, 大堀純一郎, 永野広海, 黒野祐一

鹿児島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-20 ANCA 関連血管炎からみた ANCA 関連血管炎性中耳炎の特徴について

細川裕貴^{1,2}, 岡田昌浩², 羽藤直人²¹愛媛県立中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,²愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-21 好酸球性中耳炎における eosinophil extracellular DNA trap cell death (EETosis) —慢性中耳炎との比較検討—

太田伸男¹, 松谷幸子¹, 北谷 栞¹, 草野祐典¹, 鈴木直弘², 東海林史¹, 柴原義博²,
草刈千賀志², 稲村直樹³, 藤枝重治⁴¹東北医科薬科大学 耳鼻咽喉科, ²仙台市, ³名取市,⁴福井大学医学部 耳鼻咽喉頭頸部外科

O-22 多発血管炎性肉芽腫症診断のために鼻副鼻腔生検を行った症例の検討

中森基貴, 中村陽祐, 竹内裕美

鳥取大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

O-23 IgG4 関連疾患における CD8 陽性濾胞ヘルパー T 細胞の機能解析

村山公介^{1,2}, 亀倉隆太^{1,2}, 一宮慎吾¹, 高野賢一²¹札幌医科大学医学部 フロンティア医学研究所 免疫制御医学部門,²札幌医科大学医学部 耳鼻咽喉科

一般演題 5：腫瘍・末梢神経

- O-24 ペプチドワクチンにおける IL-2 コンプレックスの有用性の検討
熊井琢美¹, 岸部 幹², 高原 幹², 片田彰博², 林 達哉^{1,2}, 原渕保明²
¹旭川医科大学 頭頸部癌先端的診断・治療学講座,
²旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座
- O-25 頭頸部悪性腫瘍における CD74 と MIF の発現
林 隆介^{1,2}, 長門利純², 原渕翔平^{1,2}, 熊井琢美¹, 岸部 幹¹, 高原 幹¹, 小林博也², 原渕保明¹
¹旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ²旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野
- O-26 The effects of HBXIP on the Biological Functions of TSCCa Cell Line and the correlation with PI3K/Akt
孟 雪¹, 池田勝久¹, 松本文彦¹, 劉 維賢²
¹順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学講座, ²中国医科大学付属盛京病院 口腔顎面外科
- O-27 Suppression of migration and invasion by silencing Rab11-FIP2 through Rho GTPase signaling in nasopharyngeal carcinoma
馮 国飛, 竹内万彦
三重大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- O-28 頭頸部がん組織における HLA 提示ペプチドの網羅的解析
黒瀬 誠, 亀倉隆太, 小笠原徳子, 高野賢一
札幌医科大学医学部 耳鼻咽喉科
- O-29 ニボルマブ投与後に甲状腺機能異常を来した症例の検討
折田浩志, 竹本 剛, 岡崎吉紘
山口県立総合医療センター
- O-30 腫瘍溶解ウイルス HF10 により誘導される抗腫瘍免疫の解析
江崎伸一^{1,2}, 五島 典², 尾崎慎哉¹, 村上信五¹
¹名古屋市立大学大学院 耳鼻咽喉・頭頸部外科, ²名古屋大学医学部ウイルス学
- O-31 グリア細胞に焦点をあてた外傷性顔面神経麻痺モデルの検討
野田昌生, 高相裕司, 吉崎智一
金沢大学 耳鼻科

一般演題 6：アレルギー性鼻炎の治療 1

- O-32 皮下免疫療法（SCIT）におけるアナフィラキシーの検討
菊岡祐介, 寺田哲也, 稲中優子, 河田 了
大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-33 山梨大学医学部附属病院アレルギーセンターで生物製剤を投与した症例の検討

松岡伴和^{1,2}, 代永孝明^{1,2}, 五十嵐賢^{1,2}, 田中光一^{1,2}, 櫻井大樹^{1,2}, 上條 篤^{2,3}, 増山敬祐^{2,4}

¹ 山梨大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

² 山梨大学医学部 附属病院 アレルギーセンター,

³ 埼玉医科大学 耳鼻咽喉科, ⁴ 諏訪中央病院 耳鼻咽喉科

O-34 スギ花粉症に対する小青竜湯の効果の検討

米倉修二¹, 栗田惇也¹, 飯沼智久¹, 花澤豊行¹, 岡本美孝²

¹ 千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学, ² 千葉ろうさい病院

O-35 ダニ舌下免疫療法による鼻症状と鼻粘膜および皮膚のI型アレルギー反応の変化

増田佐和子, 白井智子

国立病院機構 三重病院 耳鼻咽喉科

O-36 演題取り下げ

一般演題7：アレルギー性鼻炎の治療2・感染症

O-37 抗ヒスタミン薬及び鼻噴霧用ステロイド薬治療下の重症スギ花粉症患者におけるオマリズマブの効果と安全性—サブグループ解析—

岡野光博¹, 大久保公裕², 佐藤知雄³, 田植ゆう子³, 鈴木洋美³, Robert Fogel⁴

¹ 国際医療福祉大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学,

² 日本医科大学 耳鼻咽喉科学講座, ³ ノバルティス ファーマ株式会社,

⁴ Novartis Pharmaceutical Corporation, East Hanover, New Jersey, USA

O-38 スギ花粉症患者に対するスギ花粉ペプチド含有米の効果

川島佳代子¹, 橋本章司², 武田憲昭³, 荻野 敏⁴, 田中敏郎⁵

¹ 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター,

² 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター臨床研究センター,

³ 徳島大学大学院医歯薬学研究部・医学部 耳鼻咽喉科学,

⁴ 大阪大学,

⁵ 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター医務局

O-39 無莢膜型肺炎球菌の仔マウス鼻腔への定着能力の検討

酒谷英樹^{1,2}, 河野正充¹, 金子富美恵^{1,3}, 村上大地¹, 保富宗城¹

¹ 和歌山県立医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

² 紀南病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ³ 東京女子医科大学東医療センター 耳鼻咽喉科

O-40 仔マウスにおける肺炎球菌の伝播に受動喫煙が及ぼす影響

村上大地, 河野正充, 保富宗城

和歌山県立医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

一般演題 8：アレルギー疫学

- O-41 東京都におけるスギ花粉症有病率の現状および過去の結果との比較検討
 児玉浩希^{1,2}, 遠藤朝則^{1,3}, 斎藤翔太¹, 光吉亮人¹, 杉本直基¹, 大前祥子¹, 中山次久¹,
 浅香大也¹, 遠藤朝彦⁴, 浦島充佳⁵, 小島博己¹
¹東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室, ²富士市立中央病院,
³国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 耳鼻咽喉科,
⁴遠藤耳鼻咽喉科アレルギークリニック, ⁵東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部
- O-42 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎患者の疾病負荷及び健康関連 QOL に関する検討
 近藤健二¹, 岡野光博², 竹内まき子³, 田口有里恵³, 藤田浩之³
¹東京大学医学部 耳鼻咽喉科, ²国際医療福祉大学医学部 耳鼻咽喉科,
³サノフィ株式会社
- O-43 都昆虫アレルギー単独感作症例の検討 (第2報): 都市と地域との比較
 岡 愛子^{1,2}, 小山田匠吾³, 野口佳裕^{2,4}, 高橋優宏^{1,2}, 古舘佐起子¹, 中川雅文⁴,
 岡野光博^{2,4}
¹国際医療福祉大学 三田病院 耳鼻咽喉科, ²国際医療福祉大学医学部 耳鼻咽喉科学,
³国際医療福祉大学 臨床研修センター, ⁴国際医療福祉大学病院 耳鼻咽喉科
- O-44 花粉症と Body mass index の関係
 大澤陽子¹, 徳永貴弘², 加藤幸宣³, 森川太洋¹, 木戸口正典³, 藤枝重治³
¹福井赤十字病院 耳鼻咽喉科, ²真生会富山病院 耳鼻咽喉科,
³福井大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- O-45 地域住民を対象とした吸入性抗原感作率調査: 男女差を中心に
 一岩木健康増進プロジェクト健診の結果から—
 松原 篤, 原隆太郎, 野村彩美, 高畑淳子
 弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科
- O-46 スギ花粉症治療の実態調査
 上野貴雄, 近藤 悟, 吉崎智一
 金沢大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

一般演題 9：鼻副鼻腔の病態と臨床 1

- O-47 鼻茸を伴わない慢性副鼻腔炎の病態についての検討
 岡田直子^{1,2}, 井上なつき¹, 浅香大也^{1,3}, 吉川 衛¹
¹東邦大学医療センター大橋病院 耳鼻咽喉科学講座,
²日本薬科大学薬学部 生命医療薬学分野, ³浅香耳鼻咽喉科クリニック
- O-48 カルボシステインの細胞内 Cl⁻ 濃度減少を介したヒト鼻粘膜培養上皮に
 おける線毛運動振幅の増加
 乾 隆昭, 平野 滋, 安田 誠
 京都府立医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- O-49 低亜鉛が鼻粘膜のサイトカイン産生と炎症細胞浸潤に及ぼす影響
鈴木正宣¹, 中丸裕爾¹, 本間あや¹, 中藺 彬¹, 木村将吾¹, Mahnaz Ramenzanpoir², Sarah Vreugde², Peter-John Wormald², 本間明宏²
¹北海道大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室,
²The Queen Elizabeth Hospital, Department of Otolaryngology and Head and Neck Surgery of Adelaide University
- O-50 ω3 脂肪酸代謝物 17,18-EpETE による上気道好中球性炎症抑制作用
原 思織^{1,2}, 戸嶋一郎¹, 山本小百合¹, 菊岡弘高^{1,3}, 神前英明¹, 清水志乃¹, 清水猛史¹
¹滋賀医科大学付属病院 耳鼻咽喉科, ²市立長浜病院, ³長浜赤十字病院
- O-51 鼻茸線維芽細胞のヒアルロン酸合成遺伝子発現におけるプロスタグランジン D2 の関与
平田裕二^{1,3}, 岡野光博^{2,3}, 檜垣貴哉³, 春名威範³, 金井健吾^{1,3}, 牧原靖一郎⁴, 假谷 伸³, 西崎和則³
¹香川県立中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ²国際医療福祉大学医学部 耳鼻咽喉科,
³岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科,
⁴香川労災病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- O-52 演題取り下げ
- O-53 鼻副鼻腔疾患における嗅裂部粘膜の肥厚が睡眠障害に与える影響
栃木康佑¹, 穂吉亮平^{1,2}, 宮下恵祐¹, 田中康広¹
¹獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉科, ²東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室

一般演題 10：鼻副鼻腔の病態と臨床 2

- O-54 慢性副鼻腔炎に対する鼻腔内局所ステロイド加療により IgG4 関連胆管炎が改善したと考えられた 1 例
岡崎 健, 都築建三, 橋本健吾, 阪上雅史
兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- O-55 副鼻腔炎を伴わない鼻腔限局型 IgG4 関連疾患 (Probable) の一例
小山田匠吾¹, 岡 愛子², 野口佳裕¹, 中川雅文¹, 高橋優宏², 岡野光博¹
¹国際医療福祉大学病院 耳鼻咽喉科, ²国際医療福祉大学三田病院 耳鼻咽喉科
- O-56 CD4⁺CD69⁺tissue resident memory T cell の好酸球生副鼻腔炎における機能的意義
栗田惇也¹, 飯沼智久¹, 米倉修二¹, 岡本美孝², 花澤豊行¹
¹千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学, ²千葉労災病院
- O-57 鼻副鼻腔粘膜におけるリンパ小節の検討
高浪太郎, 太田 康, 鈴木光也
東邦大学医学部 耳鼻咽喉科 (佐倉)

- O-58 狭鼻を伴うアレルギー性鼻炎，慢性副鼻腔炎に対して下甲介 shoulder osteotomy を施行した 1 例
田中大地¹，中丸裕爾¹，鈴木正宣¹，本間あや¹，中園 彬¹，木村将吾¹，本間明宏¹
¹北海道大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室，²手稲溪仁会病院
- O-59 副鼻腔炎鼻茸組織における好中球の病態への関与
—組織中 MMP-8 濃度の検討—
阿久津誠¹，金谷洋明^{1,2}，平林秀樹¹，春名眞一¹
¹獨協医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学，
²とちぎメディカルセンターしもつが 耳鼻いんこう科
- O-60 NOS2 遺伝子多型が鼻茸中の NOS2 発現量および術後再発に与える影響
木戸口正典^{1,2}，吉田加奈子¹，藤枝重治¹
¹福井大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科，²筑波大学医学医療系 遺伝医学

ポスター

ポスター 1: アレルギー疫学

P-1 2019 年京都府下におけるスギ・ヒノキ花粉飛散と過去 26 年間の比較検討

浜 雄光^{1,2}, 安田 誠², 出島健司³, 久 育男⁴, 平野 滋², 竹中 洋²

¹ 浜耳鼻咽喉科医院, ² 京都府立医科大学 耳鼻咽喉科学教室, ³ 京都第二赤十字病院,
⁴ 京都先端科学大学

P-2 スギ・ヒノキ花粉症と鼻の乾燥に関する調査

高橋 哲^{1,2}, 渡辺浩介^{1,2}, 代永孝明^{1,2}, 五十嵐賢^{1,2}, 石井裕貴^{1,2}, 松岡伴和^{1,2},
櫻井大樹^{1,2}, 大戸武久², 小澤 仁², 島田和哉², 藤森 功², 松崎全成², 渡部一雄²,
増山敬祐^{2,3}

¹ 山梨大学大学院総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ² 山梨環境アレルギー研究会,
³ 諏訪中央病院 耳鼻咽喉科

P-3 スギ最大飛散期の眼症状の出現率

兵 行義¹, 雑賀太郎¹, 増田勝巳², 浜本真一¹, 原 浩貴¹

¹ 川崎医科大学 耳鼻咽喉科学, ² 倉敷平成病院 耳鼻咽喉科

P-4 舌下免疫療法で有害事象を生じた症例の背景因子に関する検討

朝子幹也^{1,2,4}, 吉田有希¹, 東山由佳¹, 朝子愛梨¹, 高田真紗美¹, 井原 遥¹, 森田瑞樹¹,
桑原敏彰¹, 濱田聡子^{3,5}, 河内理咲^{4,5}, 小林良樹^{4,5}, 岩井 大⁵

¹ 関西医科大学 総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

² 関西医科大学 総合医療センター アレルギーセンター,

³ 関西医科大学 香里病院 耳鼻咽喉科,

⁴ 関西医科大学 附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

⁵ 関西医科大学 附属病院 アレルギーセンター

P-5 口腔アレルギー症候群とスギ花粉症があり舌下免疫療法にて舌下部の副作用が強く出ていた一症例

木村文美, 鹿野和樹, 中田誠一

藤田医科大学 ばんだね病院 耳鼻咽喉科 2 講座

P-6 第 2 報 カンボジア国立病院におけるアレルギー性鼻炎に関する疫学調査

坂下雅文¹, 大村和弘², Meng Sour⁵, 栃木 康祐³, 宮下恵祐^{3,4}, 坂本達則⁴, 高林哲司¹,
成田憲彦¹, Lou Lykheang⁵, 藤枝 重治¹

¹ 福井大学医学部 耳鼻咽喉科, ² 東京慈恵会医科大学, ³ 獨協医科大学埼玉医療センター,

⁴ 京都大学, ⁵ カンボジア国立プレアンドン病院 耳鼻咽喉科

ポスター 2：アレルギー性鼻炎の治療

P-7 エメダスチンフマル酸塩含有テープ剤の満足度と使用率の検討

中村真浩, 池田勝久
順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学講座

P-8 舌下免疫療法施行中のスギ花粉症患者における経皮抗ヒスタミン薬併用の有益性

大木幹文¹, 鈴木立俊², 中村吉成²
¹北里大学メディカルセンター 耳鼻咽喉科,
²北里大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

P-9 スギ舌下免疫療法の治療開始時期に関する検討

草野祐典¹, 湯田厚司², 太田伸男¹, 鈴木直弘³, 東海林史¹, 柴原義博³, 草刈千賀司³, 岡本美孝⁴
¹東北医科薬科大学 耳鼻咽喉科, ²津市, ³仙台市, ⁴千葉労災病院

P-10 山形県での他科医療機関における舌下免疫療法の現状

鈴木祐輔¹, 倉上和也², 川合 唯³, 渡邊千尋⁴, 太田伸男⁵, 欠畑誠治¹
¹山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座,
²山形県立中央病院 頭頸部・耳鼻咽喉科, ³山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科,
⁴山形市立病院済生館 耳鼻咽喉・頭頸部外科, ⁵東北医科薬科大学 耳鼻咽喉頭科学

P-11 当科ダニアレルギー舌下免疫療法の有効性に関する検討

嶋村晃宏¹, 濱田聡子^{1,2}, 阪本大樹¹, 小林良樹^{2,3}, 朝子幹也^{2,4}, 岩井 大³
¹関西医科大学香里病院 耳鼻咽喉科, ²関西医科大学附属病院 アレルギーセンター,
³関西医科大学附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科,
⁴関西医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科頭頸部外科

P-12 アレルギー性鼻炎における手術療法の検討

濱田聡子¹, 阪本大樹¹, 嶋村晃宏¹, 小林良樹^{2,3}, 朝子幹也^{2,4}, 岩井 大³
¹関西医科大学香里病院 耳鼻咽喉科, ²関西医科大学附属病院 アレルギーセンター,
³関西医科大学附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科,
⁴関西医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科頭頸部外科

ポスター 3：アレルギー基礎

P-13 Thrombin activatable fibrinolysis inhibitor (TAFI) がアレルギー炎症に与える影響の検討

吉田加奈子, 高林哲司, 坂下雅文, 意元義政, 加藤幸宣, 成田憲彦, 藤枝重治
福井大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-14 片鼻腔閉鎖マウスを用いた活動性評価の検討

雑賀太郎, 兵 行義, 齊藤沖真, 浜本真一, 原 浩貴
川崎医科大学 耳鼻咽喉科

P-15 漆喰壁による室内空間の調湿性向上とダニ数および *dre p 1* 量低減効果の検討

光吉亮人¹, 遠藤朝則^{1,2}, 齋藤翔太¹, 児玉浩希¹, 杉本直基¹, 大前祥子¹, 中山次久¹, 浅香大也^{1,3}, 小島博己¹, 齋藤三郎⁴

¹東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科,

²国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 耳鼻咽喉科, ³浅香耳鼻咽喉科クリニック,

⁴東京慈恵会医科大学 分子免疫学研究部

P-16 秋田市における花粉飛散数, 花粉症状, *Cry J1* 濃度の検討

富澤宏基¹, 齋藤秀和², 山田武千代²

¹秋田厚生医療センター, ²秋田大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科 頭頸部外科学講座

P-17 涙液総 IgE 検査キットを用いた鼻汁検体からの総 IgE 検出法開発の試み：鼻汁好酸球検査との比較

熊埜御堂浩¹, 岡野光博²

¹熊埜御堂 耳鼻咽喉科, ²国際医療福祉大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学

P-18 アレルギー性鼻炎のヒスタミン H1 受容体と IL-33 遺伝子発現亢進に対する小青竜湯と生薬の抑制効果の検討

中野誠一¹, 北村嘉章¹, 神村盛一郎¹, 水口博之², 福井裕行³, 武田憲昭¹

¹徳島大学医学部 耳鼻咽喉科, ²大阪大谷大学 薬学部薬理学講座,

³徳島大学大学院 分子難治性疾患学分野

ポスター 4：鼻副鼻腔

P-19 好酸球性副鼻腔炎における糖転移酵素の機能解析

中谷彩香¹, 前田陽平¹, 津田 武¹, 武田和也², 端山昌樹¹, 猪原秀典¹

¹大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学,

²大阪医療センター 耳鼻咽喉科

P-20 粘膜アジュバント経鼻投与による自然リンパ球への影響

吉永和弘, 平野 隆, 川野利明, 松永崇志, 鈴木正志

大分大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-21 JESREC スコアと組織中好酸球数による副鼻腔炎の臨床経過の検討

高畑淳子, 鈴木哲史, 松原 篤

弘前大学医学部 耳鼻咽喉科

P-22 気管支喘息に併発した好酸球性副鼻腔炎に対して抗 IL-4R α 抗体 Dupilumab が著効した症例

洲崎勲夫¹, 水吉朋美², 小林一女²

¹山梨赤十字病院 耳鼻咽喉科, ²昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学講座

P-23 アナフィラキシーを繰り返す気管支喘息合併食物アレルギーに対して抗IgE抗体治療が有効であった1症

朝子幹也^{1,2,4}, 朝子愛梨¹, 東山由佳¹, 吉田有希¹, 高田真紗美¹, 井原 遥¹, 森田瑞樹¹, 桑原敏彰¹, 河内理咲^{3,4}, 小林良樹^{3,4}, 岩井 大³

¹ 関西医科大学 総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

² 関西医科大学 総合医療センター アレルギーセンター,

³ 関西医科大学 附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

⁴ 関西医科大学 附属病院 アレルギーセンター

P-24 当院を受診したアナフィラキシー症例の臨床的検討

菊池伊織¹, 久保和彦^{1,2}, 村上大輔²

¹ 千鳥橋病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ² 九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

ポスター 5：好酸球

P-25 好酸球性副鼻腔炎における黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの感作に関する検討

東山由佳¹, 朝子幹也¹, 高田真紗美¹, 井原 遥¹, 森田瑞樹¹, 桑原敏彰¹, 小林良樹², 岩井 大²

¹ 関西医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

² 関西医科大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-26 副鼻腔炎分泌物のレオロジー的特性と炎症病態における ETosis の関連について

宮部 結^{1,2}, 植木重治¹, 福地峰世¹, 齋藤秀和², 松脇由典³, 廣川 誠¹, 山田武千代²

¹ 秋田大学医学部医学系研究科 総合診療部・臨床検査診断学講座,

² 秋田大学医学部医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座,

³ 医療法人社団 恵芳会 松脇クリニック品川

P-27 好酸球性副鼻腔炎術後経過中に発症した好酸球性多発性血管炎性肉芽腫症の2症例

橋本健吾, 都築建三, 岡崎 健, 阪上雅史

兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-28 Benralizumab 投与前後における鼻茸の組織学的変化—喘息・中耳炎合併の重症好酸球性副鼻腔炎例の経験—

小田尊志, 竹野幸夫, 竹本浩太, 西田 学, 築家伸幸, 石野岳志

広島大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-29 好酸球性副鼻腔炎の再発例における中鼻甲介切除の治療効果の検討

端山昌樹¹, 前田陽平¹, 津田 武¹, 小幡 翔¹, 中谷彩香¹, 武田和也^{1,2}, 猪原秀典¹

¹ 大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学,

² 大阪医療センター 耳鼻咽喉科

P-47 Local Allergic Rhinitis 疑い例における下鼻甲介粘膜の免疫組織学的検討

松根彰志¹, 石田麻里子¹, 曾 由布^{1,4}, 大橋隆治², 大久保公裕³

¹ 日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科, ² 日本医科大学武蔵小杉病院 病理検査科,

³ 日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科, ⁴ 関東労災病院 耳鼻咽喉科

ポスター 6：腫瘍

P-30 頭頸部扁平上皮癌のがん微小環境における AEBP1 の解析

萬 顕, 高野賢一

札幌医科大学医学部 耳鼻咽喉科

P-31 甲状腺未分化癌の遺伝子解析および乳頭癌の未分化転化リスク因子の検討

Mora Nuermaimaiti¹, 福村由紀², 藤巻充寿¹, 池田勝久¹

¹ 順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学講座, ² 順天堂大学医学部 人体病理学講座

P-32 舌潰瘍を呈したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の一例

小林由貴, 菅原一真, 山本陽平, 山下裕司

山口大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学

P-33 多発性肺腫瘍を伴った MTX 関連リンパ増殖性疾患例と文献報告例の検討

牧原靖一郎¹, 假谷 伸², 岡野光博³, 西崎和則²

¹ 香川労災病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ² 岡山大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学,

³ 国際医療福祉大学医学部 耳鼻咽喉科

P-34 当院における頭頸部扁平上皮癌オブジーボ症例の TILs の検討

築家伸幸, 竹本浩太, 竹野幸夫

広島大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科

P-35 Nivolumab による自己免疫疾患関連有害事象として水疱性類天疱瘡を発症した 1 例

鈴木 陽, 大峽慎一, 小島雅貴, 藤巻充寿, 松本文彦, 池田勝久

順天堂大学医学部附属順天堂医院 耳鼻咽喉・頭頸科

P-36 甲状腺未分化癌における上皮間葉移行と microRNA200b の関係

玉川俊次, 村上天地, 河野正充, 保富宗城

和歌山県立医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ポスター 7：自己免疫・感染

P-37 ANCA 関連血管炎性中耳炎に対する当院での取り組み

鈴木宏隆, 松延 毅, 大久保公裕

日本医科大学 耳鼻咽喉科

- P-38 インフルエンザ菌に対する経年的上気道粘膜免疫応答の変化
平野 隆, 川野利明, 松永崇志, 吉永和弘, 門脇嘉宣, 梅本真吾, 鈴木正志
大分大学医学部 耳鼻咽喉科
- P-39 インフルエンザウイルス感染後の鼻粘膜における免疫応答
松永崇志, 平野 隆, 川野利明, 吉永和弘, 鈴木正志
大分大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科
- P-40 ホスホリルコリン経眼投与による上気道粘膜免疫応答の誘導
永野広海, 川島雅樹, 大堀純一郎, 黒野祐一
鹿児島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- P-41 口蓋扁桃に局限したサルコイドーシス症例
中村友樹, 川崎泰士
静岡赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道科

ポスター 8：内耳・中耳・その他

- P-42 TGF- β シグナルを介した難聴の新規病態メカニズムの解明
角木拓也¹, 小島 隆², 高野賢一¹
¹札幌医科大学 耳鼻咽喉科学講座, ²札幌医科大学 フロンティア研究所 細胞科学部門
- P-43 好酸球性中耳炎モデルにおける CD11c 陽性樹状細胞の免疫組織学的検討
原隆太郎, 工藤直美, 三浦智也, 松原 篤
弘前大学医学系研究科 耳鼻咽喉科学講座
- P-44 上咽頭の生検で診断が確定した結節性多発動脈炎症例
山本陽平, 小林由貴, 藤井博則, 菅原一真, 山下裕司
山口大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学
- P-45 難治性口腔内病変にて当科を受診した自己免疫性水疱症の4症例
齊藤沖真, 兵 行義, 浜本真一, 雑賀太郎, 原 浩貴
川崎医科大学 耳鼻咽喉科学教室
- P-46 乾癬性関節炎の関与が考えられた難治性口腔・咽頭炎症例
荒井慎平¹, 楠 威志¹, 本間博友¹, 城所淑信¹, 賀屋勝太¹, 池田勝久²
¹順天堂大学医学部附属静岡病院 耳鼻咽喉科,
²順天堂大学医学部附属順天堂医院 耳鼻咽喉・頭頸科

特別講演「領域講習」

多層オミクス研究によるがんバイオマーカーの探索と社会実装を目指して

ほん だ かず ふみ^{1,2}
本 田 一 文¹ 日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野² 国立がん研究センター研究所早期診断バイオマーカー開発部門

がんは多彩な疾患で、同一臓器・進行期であっても、個々の症例で臨床経過は大きく異なります。がん治療には、集団を対象とした画一的な治療だけでなく、個々の腫瘍が有する個性を適確に捉えて治療を実施する精密医療の概念が求められています。また、がんの死亡率の低減には、治癒可能ながん患者やリスク要因を有する対象者をできるだけを層別化し、効率よく検診を実施するという戦略も有効です。

昨今、医療の発展は目覚しく、①ゲノム・トランスクリプトーム・プロテオーム・メタボロームなどによる多層オミクス研究から疾患原因が解明され、②その原因に対して生化学・生物物理学を駆使して創薬がなされ、③精密医療に資するバイオマーカーや効果的な予防法や早期診断法の開発が革新的な医療を創出しがん治療に貢献しています。

特に革新的な医薬品の臨床開発にはバイオマーカーの存在は欠かせません。薬理作用点を俯瞰したバイオマーカーとセットで臨床治験を実施することで、医薬品の効率的な臨床開発は行われています。さらに、最小限な侵襲かつ医療経済性に見合った効率的ながん検診法の開発が望まれています。早期がんや発がんリスク保因者をバイオマーカー等で層別化し、ハイリスク群にのみ比較的侵襲性の高い画像検査を実施することで効率の良いがん検診法の開発がなされていくでしょう。

本講演では、日々頭頸部がんの診断・治療を実践されているエキスパートの先生方とがんバイオマーカーのメディカルニーズや開発の問題点について双向性に情報を共有したいと思います。

The function of eosinophil-derived neurotoxin in ECRS pathogenesis

たけし つだ
Takeshi Tsuda^{1,2}

¹ Department of Otorhinolaryngology–Head and Neck Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, ² Department of Otorhinolaryngology–Head and Neck Surgery, National Hospital organization Osaka National Hospital

Eosinophilic chronic rhinosinusitis (ECRS) is a subtype of chronic rhinosinusitis (CRS) that is characterized by intractable nasal polyps with eosinophilic inflammation. In recent years, various studies have clarified the pathogenesis of ECRS, but there are still many unknowns.

The eosinophil is a granulocyte that contain eosinophil granule proteins (EGPs). EGPs play an important role in biological defense mechanism, at the same time, are closely related allergic inflammation due to its cytotoxicity. Eosinophil-derived neurotoxin (EDN) is one of the EGPs and we evaluated the function of EDN in ECRS pathogenesis and assessed its potential as a disease activity marker.

As a result, serum EDN levels were higher in patients with ECRS than in those with other paranasal diseases and were positively correlated with clinical disease activity. IL-5 stimulation induced EDN production from isolated human eosinophils. Furthermore, EDN acted on nasal epithelial cells to promote the production of matrix metalloproteinase-9 (MMP-9), resulting in epithelial remodeling.

Therefore, EDN degranulation from eosinophils may be involved in formation of intractable nasal polyposis in ECRS. EDN may also be an important therapeutic target.

LS-5 共催セミナー3（ランチョンセミナー5）

重症花粉症治療におけるオマリズマブの有用性

おか の みつ ひろ
岡 野 光 博

国際医療福祉大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科

鼻アレルギー診療ガイドラインは2020年7月に第9版に改訂された。本改訂版では、重症・最重要の花粉症に対してヒトIgE抗体であるオマリズマブ（ゾレアTM）の使用が選択肢のひとつとなった。

花粉症・アレルギー性鼻炎の重症度は1日あたりの平均くしゃみ発作回数または平均鼻かみ回数、および口呼吸の有無および程度を指標として分類される。我々が2011年に行なったインターネット調査では、重症以上のスギ花粉症患者は約60%であった。重症患者の比率は花粉飛散量が影響すると思われるが、一定量以上の花粉飛散があった場合は多くの花粉症患者が重症化すると思われる。また症状の重症化に伴い、QOLや労働生産性が著しく低下することも示されている。

現在わが国で花粉症治療薬と頻用されているものは、経口抗ヒスタミン薬と鼻噴霧用ステロイド薬である。経験的に重症例にはこの2剤を併用することが多く、我々が行なった調査でも経口抗ヒスタミン薬で効果が不十分な例に鼻噴霧用ステロイド薬を上乗せすると有意な症状スコアの軽減がみられる。一方、この併用療法を行なっても、ステロイド単剤で効果のみられる症例に比較して症状スコアは未だ高値であった。すなわちUnmet Medical Needsとして、既存治療に抵抗する重症花粉症に対する新規治療法の開発が望まれていた。

ゾレアはマウス抗ヒトIgEモノクローナル抗体をヒト化した生物学的製剤である。本剤は遊離IgEと結合し、マスト細胞や抗原提示細胞の高親和性IgE受容体（FcεRI）を減少させ、アレルギー性炎症や抗原提示を抑制する。

そこで、重症スギ花粉症にゾレアが有効であるか臨床試験が行なわれた。すなわち過去2年間、鼻噴霧用ステロイド薬と内服抗アレルギー薬で効果が不十分であった患者を対象に、抗ヒスタミン薬と鼻噴霧用ステロイド薬に加え、ゾレアを注射した際の鼻症状スコアなどをプラセボと比較した。その結果、ゾレアの投与はプラセボと比較して、症状ピーク期の症状を有意にかつ臨床的に意味のある差をもって抑制した。すなわち、既存の標準治療に上乗せされるゾレアの効果が示された。この知見から2019年12月に重症季節性アレルギー性鼻炎に対してゾレアの使用が承認された。一方、その使用に際しては、最適使用推進ガイドラインに則ることが求められている。

スギ花粉症の飛散期である2-4月には、受験や大切なスポーツの試合など人生の分岐点を迎える患者も少なくない。アレルギー性鼻炎の罹患がこれらの成績に悪影響を与えることは周知である。ゾレアはドーピングの対象薬物には該当しないため、2020年にはプロアスリートに対して本剤を投与する経験を得た。コロナ渦で試合自体が中止となり、明確な印象を得ることは難しかったが、特にアスリートや受験生にとってゾレアはフェアな機会を得ることができるツールとなることが期待できる。

ES-1-1 イブニングセミナー1「耳鼻の免疫アレルギー研究, その歩み」

内耳免疫の基礎と臨床—内耳免疫傷害モデル開発研究と内耳自己免疫病
5年以上観察337症例の治療成績—とみ やま しゅん いち
富 山 俊 一^{1,2}¹ 大宮中央総合病院 耳鼻咽喉科² 日本医科大学 耳鼻咽喉科

今日、内耳免疫環境の実態が解明される中、1985年提唱された内耳自己免疫病の海外臨床報告は多数集積しているが、本邦では臨床報告も極めて少なく、保険未掲載疾患のままである。本セミナーでは内耳免疫基礎研究から内耳自己免疫病診断治療に至る経過を報告する。1970年代、内耳免疫現象は遠隔制御下の反応と考察されていた。1983年、Harris JPは実験的に蝸牛鼓室階外リンパ腔に抗原二次的刺激して免疫反応を誘導し、外リンパ、血清、脳脊髄液抗体価を測定した結果、遠隔制御ではない内耳局所抗体産生機能の存在を示唆し、次いで富山が内リンパ囊削除動物での外リンパ抗体価の有意な抑制を認め、内耳免疫現象は内リンパ囊制御下の反応と報告。この結果は内耳免疫防御作用と同時に内耳免疫傷害発症を示唆し、原因不明内耳疾患のなかから内耳免疫傷害疾患を見出す研究方向が定まり、最初にメニエール病を注目した。すでに1965年、Kimura R等が内リンパ囊削除動物で発作間歇期内リンパ水腫動物モデルを完成していた。そこで内耳免疫傷害めまい発作期モデル動物開発に進展。1988年宮村等らが内耳Ⅰ型免疫反応にてメニエール病の特徴である内リンパ水腫、自発眼振、聴力障害誘導に成功した。だが、Stahle Jはメニエール病とⅠ型アレルギーIgE抗体価との有意な関係を肯定できなかった。富山等は1995年Ⅲ型免疫反応モデルを開発、外リンパ刺激抗原抗体価変動と相関する一過性のメニエール病類似病状誘導に成功した。メニエール病の再発性は単発抗原抗体反応より継続的抗原抗体反応を予測し、自己免疫性内耳障害モデル開発に進展した。既に1982年Yoo TJ, Tomoda K, 等が内耳非特異的自己抗原Type II collagenによる自己免疫性内耳障害モデルを開発していたが、メニエール病の臨床証明には至らなかった。1994年Robertson NG等の内耳蛋白遺伝子COCHの報告は、内耳特異的蛋白による自己免疫性内耳障害モデル開発へと進展させた。幸運にも蛋白分子量別分画採取装置とプロテオーム解析が可能となったことで、富山は、牛内耳蛋白からCOCH由来蛋白を抽出し、その蛋白抗原単回感作でTh1による内耳細胞性免疫誘導、複数回感作で68KDa牛内耳蛋白自己抗体産生誘導に成功し、COCH由来蛋白による内耳自己免疫病の発病を明らかにした。2000年から内耳自己免疫病の臨床研究にも着手。2015年には原因不明難治性進行性難聴、めまい、内耳自己抗体陽性の内耳自己免疫病71名の5年継続治療成績を報告、聴力改善33.7%、進行阻止56.3%、カロリック検査17名は両側耳とも有意に改善した。内耳自己免疫病初期病状は多様性、遷延性、早期診断早期治療症例は予後良好であった。今後の課題はリコンビナントヒト内耳蛋白を抗原とする内耳自己抗体価エライザ検査法による内耳自己免疫病診断の確立と保険掲載疾患への早期採択である。